

Title	Project-based Organizations in Hyper-competition-Management of Dynamic Network Organizations
Author(s)	林, 漢卿
Citation	大阪大学, 2005, 博士論文
Version Type	
URL	https://hdl.handle.net/11094/45792
rights	
Note	著者からインターネット公開の許諾が得られていないため、論文の要旨のみを公開しています。全文のご利用をご希望の場合は、 〈a href="https://www.library.osaka-u.ac.jp/thesis/#closed"〉 大阪大学の博士論文について <a>〉 をご参照ください。

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

氏 名	林 漢 卿 ^{キョウ}
博士の専攻分野の名称	博 士 (経済学)
学 位 記 番 号	第 1 9 1 7 1 号
学 位 授 与 年 月 日	平成 17 年 3 月 25 日
学 位 授 与 の 要 件	学位規則第 4 条第 1 項該当 経済学研究科日本経済・経営専攻
学 位 論 文 名	Project-based Organizations in Hyper-competition-Management of Dynamic Network Organizations (競争状況におけるプロジェクト組織に関する研究—ダイナミックな ネットワーク組織の管理)
論 文 審 査 委 員	(主査) 教 授 小 林 敏 男 (副査) 教 授 金 井 一 頼 教 授 高 尾 裕 二

論 文 内 容 の 要 旨

現在の企業を取り巻く経営環境の変化は激しく、技術の発展および IT の普及に伴い、市場が一夜にして変わることもある。そのため、組織はこのような激しく変化する競争状況に対応して、より幅広い資源を調達するため、ダイナミックな合従連衡を行わなければならない。そのようにして、数多くの企業が戦略的な提携を行い、IT を上手く利用し、ダイナミックなネットワーク組織 (DNO) を構築している。本論文の目的は、競争状況におけるプロジェクト組織に関する研究を通じて、伝統的組織概念を転換し、DNO が企業の境界を越えて存在し、活動している現状を分析することで、ダイナミックな組織間の提携のマネジメントに関する中核的な諸課題、およびその解決策を示すことにある。

本論文では、まず最近の組織理論に基づき、DNO を適切に分類する。さらに、いくつかの代表的な DNO のケース・スタディによって、DNO に関するマネジメント上の諸課題を系統的に研究し、その研究成果を示すとともに、企業経営者に対する提言を行う。各章の概要は、下記の通りである：

第 1 章の「Introduction」では、まず近年の Hyper-competition と呼ばれる市場競争の変化を考察する。さらに本論文の研究目的、および論文の構成を説明する。

第 2 章の「Project-based Organizations and Dynamic Network Organizations」では、本論文のテーマに関連するキーワードの定義を行う。まず先行文献を整理し、Project-based Organizations と Network Organizations の概念を説明する。さらに今日の IT Revolution を分析した上で、DNO の 5 つ特徴を提示し、DNO の定義を行う。

第 3 章の「Taxonomy of DNO」では、DNO の協働のツールである Information Network と、DNO の協働の内容としての Transaction Variety との 2 つの軸に基づいて、DNO を 1. Ad hoc、2. Cyber Marketplace、3. Business Group、4. Virtual Integration の 4 タイプに分け、DNO の新たな分類を提案する。これまでの DNO に関する文献では、主に DNO の利点を強調する内容が多かったが、より広い視点で DNO の分類を行う文献は比較的少なかった。それゆえ、本章の目的は上記の 2 つの軸により、適切な DNO 分類を行うことにある。

第 4 章の「Evolution of DNO Stage」では、引き続き IT と Transaction との 2 つの軸を用いて、ケース・スタディを行い、DNO の進化論を検討する。まず、2 つ代表的な DNO を取り上げ、それぞれに対して協働プロセスにお

ける Network Mechanisms の変化を詳しく分析する。さらに研究結果に基づいて、DNO の進化に関する命題を提示する。

第5章の「Coordination in DNO」では、1つの典型的な DNO のケース・スタディを通じて、IT の視点から、DNO での Coordination に関する諸問題を詳細に分析する。まず Networking Interactivity と Networkig Formality との2つの軸により、DNO での Coordination を分析し、さらに分析結果に基づいて、伝統的なネットワーク組織をダイナミックなネットワーク組織に転換させる方法を提言する。

第6章の「Governance of DNO」では、Transaction の視点より DNO の Governance に関する諸問題と、その戦略的なマネジメントについて検討する。まず先行研究を整理し、そこから DNO の Governance に対する2つの軸である Transactional Relation と Transactional Power を提示する。さらに、PC 産業における2つ代表的な提携プロジェクトを取り上げ、ケース・スタディにより、DNO の Governance を分析する。最後にそれらの研究結果に基づいて、Governance Strategy, Corporate Strategy、そして Networking Strategy の関連性を解明していく。

第7章の「Conclusion」では、本論文の分析結果を、9つの論点で総括するとともに、DNO の今後の発展について言及する。

論文審査の結果の要旨

産業内におけるイノベーション能力の拡散および相互依存関係の濃密化に伴い、企業の経営戦略課題は、提携へと移行しつつある。本論文は、戦略的提携のあり方を、組織論的に分析することにより、その安定化へ向けたマネジメントに関する諸知見を数多く導き出している。それゆえ、本論文は、博士（経済学）の学位を授与するに値する論考であると、判断する。